

広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第四回運営委員会 会議録

日 時 平成24年3月6日(火)15時00分～16時30分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟4階協議室

出席者 (委員)粟屋委員、中島委員、波多野委員、東委員、弘中委員
(プラザ)石田館長、新谷

議事及び会議要旨

議事1. まちづくり市民交流プラザの管理運営について

2月末現在の事業の進捗状況と管理運営についての報告を行い、意見が交わされた。

・まちづくり関係の事業が多いが、資料をもう少し整理してほしい。公民館との連携で会場も公民館というものがあるが、講師はプラザが派遣するのか。プラザとの関係がわかりにくい。

○プラザ事業の「まちづくりワークショップ」を公民館で開催し、ワークショップをとおして、「ファシリテーション」という、よりよい話し合いの進め方について学ぶ機会として共催で実施したものである。

・他の公民館も共催依頼すれば対応してもらえるのか。

○今回のみ試行的に実施したものであるが、次年度に向けては、まちづくり活動の支援として公民館事業に位置付けられるような「学習プログラム開発事業」として取り組みたいと考えている。

・まちづくりに限らず、プラザで企画した事業を、他の公民館で実施すればよいと思っている。今回は、双方の目的が一致したところで開催したようであるが、全市施設なので、公民館だけでは企画できないものを提案していくことに、プラザの価値があると思う。

・過去、プラザの事業に公民館職員が協力して実施したものがあつた。公民館職員との交流があつたほうがいい。

○公民館には「市民アカデミー事業」というアカデミックな事業があり、当初は全市施設であつた中央公民館がまとめて実施していた。その後、各地域でも開催できるよう、各区の調整公民館に割り振って実施されるようになったが、区の中だけでは企画や参加者数の面などから事業として成立しづらい事情もあつた。より高度なもの、専門性の高いものを企画して、一緒に実施する必要性を求められているような気がする。

・それを応援する意味で、プラザで企画・実施している事業に公民館職員が協力したり、プラザ事業を公民館で実施する機会があつてもよいと思う。

・地域課題というのは公民館でなければわからない。

・公民館それぞれが企画をするのは大変である。いい事業の企画があれば、他の公民館でも取り入れるなど、水平展開できればよい。

・プラザも公民館もひと・まちのネットワークなので、組織として取り組んでもらいたい。

・公民館とプラザは別の施設と感じている。

・「まちづくり」を整理すれば、公民館とプラザの役割が見えてくると思う。

○公民館も指定管理施設なので、計画された事業以外に新たな事業を持ち込むのは難しい。近く公民館の社会教育主事会議の場で、次年度の「学習プログラム開発事業」の実施について説明を行う予定である。そこで既存の事業と組み合わせる実施できないかなど、公民館の意見をいただきながら実施について協力を求めている。

・公民館学習グループ作品展の際、地域でのプラザの知名度が低いとのことだが、プラザの行事をもっとマスコミに掲載してもらうように記者と仲良くなってPRに努めてほしい。

○市民との協働事業で開催した「観光アシスタント養成講座」終了後、参加者20人中、11人が観光ボランティアとして活動することとなった。

・講座を終了すると、修了証や資格者証など、何か出るのか。

○特にはない。

・養成講座を受けて、参加者としては何か成果がほしいと思う。実力が伴うかどうかは別だが、ボランティアで活動する時に、「あなたはどんな資格があるのか。」などとよく聞かれる。そこで、館長名でも「プラザ講座修了証」とかあれば理解してもらえやすい。そうした受講生へのお土産を出してあげてもらいたい。

・企業・団体との連携事業はどのくらい受けているのか。

○会場の都合などから3事業程度としている。今後新たなところとの連携をするために、同じ事業は3年を目途にしたいと考えている。

・パソコンサロンの参加状況はどうか。

○だいたい定員を超えていたが、2月は冷え込みの影響か少し落ち込んだ。

・まちづくりボランティア人材バンクができて15年になる。10年目にフラワーフェスティバルに参加したが、今年改めて参加しようと人材バンクの中で働き掛けている。実施の際には協力をいただきたい。

○来年度の「まちづくり市民交流フェスタ」実施に向けて、告知チラシを作製したので、広報についてご協力いただきたい。